

第17回 MBI（マルチメディアを基礎にした教育）研究発表会プログラム

日 時：平成26年10月25日（土）13：00～16：00

場 所：総合教育研究棟フロネシス 2F 8211 講義室

開会の辞

13：00～13：10 明治薬科大学 副学長 川崎 知己

座長：阿刀田 英子

1. 演題1 eポートフォリオとルーブリックを活用した授業実践

13：10～13：50 畿央大学 教育学習基盤センター 宮崎 誠

要 旨 LMS や CMS を活用した授業で教育効果を上げるには、単にシステムを利用することにとどまらず、学生同士の学び合いや学習の振り返り、学習到達度の管理など、システムを効果的に活用した授業設計を考えることが重要だと考える。本講演では学生一人ひとりのデジタルストーリーテリング映像制作による授業設計を通じて、eポートフォリオを活用した教育効果との相似性の他、ルーブリックによる自己評価を取り入れた学習について報告する。

2. 演題2 薬剤師生涯学習にE-ラーニングを根付かせるには

13：50～14：10 明治薬科大学 基礎化学部門 日野 文男

要 旨 ネット社会の隆盛に対応するかのよう、薬剤師の生涯学習においても、「E-ラーニング」と称する講座がビデオや DVD 講座の後継者として配信されてきている。しかし、本来 ICT の特徴である広域性が生かされておらず、活用目的は別として、一部の薬剤師だけに利用されているに過ぎません。このような観点から、今後の薬剤師生涯学習と ICT 教材の在り方、特に、薬剤師の継続的職能開発を広めるための E-ラーニング講座の在り方等について報告いたします。

3. 演題3 講義収録ビデオの自己評価による授業改善の試み

14：10～14：30 明治薬科大学 薬学教育部門 石橋 芳雄

要 旨 明治薬科大学では、教育内容・方法の改善を目的とした FD 活動の一環として、学生による授業アンケート評価、教員による相互評価(ピアレビュー)および教育方法改善のための講演会を継続して実施している。さらに今年度は、新たに導入した Cbox(講義収録/動画コンテンツ作成システム)および MY-CAST (moodle) を利用し、講義収録ビデオの自己評価を実施したので、その概要を報告する。

<<Coffee Break & 企業展示セッション 14:30~15:00>>

座長：石橋 芳雄

4. 演題4 学習管理システム Moodle (MY-CAST) を活用した講義への導入例	
15:00~15:20	明治薬科大学 薬学教育部門 下川 健一
要旨	現在、教育現場では IT 環境の整備が進んでおり、本学でも学内専用ポータルサイトの「マイポート」(MY-PORT) が提供されている。そして、本年度よりこのマイポートにインターネットを利用した学習支援システム MY-CAST (Mei Yaku-Campus Support Tool) が導入された。そこで、授業で使用する資料 (講義プリント、動画配信) の提示および課題レポートの提出について、講義への導入を試みた。その結果、講義資料の配布およびレポート提出の状況把握等で有用であることが示された。
5. 演題5 数学系科目における moodle の活用	
15:20~15:40	明治薬科大学 数理科学部門 熊澤 美裕紀
要旨	近年は携帯電話の機能が充実してきたこともあり、学生たちはいつでもどこでもインターネットに接続できる環境にある。そこで、今年度から導入された moodle を活用し、数学系科目においてグループ活動とオンラインテストを行った。本発表では、これらの活用例と今後の基礎教育科目における moodle 活用の可能性について紹介する。
6. 演題6 明治薬科大学 LMS/講義支援システム (MY-CAST) の導入	
15:40~16:00	明治薬科大学 数理科学部門 野口 保
要旨	2014 年度より導入した明治薬科大学 LMS/講義支援システム (MY-CAST) の現状と利用状況について紹介する。また、MY-CAST 利用紹介として、1 年生前期に行われる情報処理演習での利用を紹介する。前年度まで、サイバーキャンパスやファイルサーバーの学生共通などを利用して行っていた資料配布、課題提出やアンケート調査などが、MY-CAST によって容易に行えるようになったことを、操作性や情報セキュリティの観点から示す。さらに、MY-CAST の LMS/講義支援での利用以外の可能性についても紹介する。
講評	
16:00~16:10	教務委員長 阿刀田 英子

<<情報交換会 16:10~18:00>>

総合教育研究棟フロネシス 2Fラウンジ